



辰生が喫茶店を出店!!

[商業科面]

～辰野町未来経営人事業に採用されました～

辰野商業科ビジネスコースの2年生が、辰野町の商店街の空き店舗を借りて、喫茶店経営をしています。これは、辰野町商工会が企画した「未来経営人事業」に応募し採用されたもので、今年2月までの事業です。本校で開発した商品などを買ってその場で食べられる憩い場「レトロ喫茶」ができました。開店するまでを写真で紹介します。

ステップ1

商店街の空き店舗を借りることになり、家主さんとの家賃交渉。何事もやってみよう！！



ステップ2

お店が決まったところで、全員でお掃除。自分たちのお店。思った以上に広い店内、どんなお店になるのでしょうか♪_♪



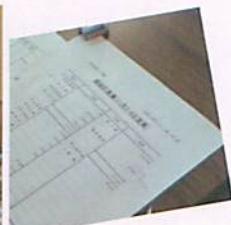
ステップ3

いよいよ開店です。
お客様は来てくれるかな・・・・



開店当日、思った以上に沢山のお客様がご来店。小さなお子様から、お年寄りの方々の笑顔に支えられました。

チョコっとリンゴクッキー売ってるよ。

ステップ4 収支報告書の作成
商業の学習が生かされます

1回目の営業が終了したら、商工会の方々と反省会。会社の経営とは大変なのだ。

2年生が経営するカフェは、2月2日（土）・16日（土）に営業します。場所は、辰野町下辰野本町2丁目。サンスペース白木屋さんの空き店舗です。

昭和レトロをテーマとしたカフェ。皆さんのお越しをお待ちしています。（^-^）

こんなことも

松本大学ビジネスアイデアコンテスト

第9回となる松本大学ビジネスアイデアコンテスト。なんと商業科生徒6名が入賞。授賞式に行ってきました。





十二月一日、辰野町民会館で文化系クラブ合同発表会が行われました。

桜陵太鼓、演劇、ダンス、声楽、書道、吹奏楽のステージ発表。美術、イラスト、書道の展示発表。茶華道の野立てが行われ充実した発表会になりました。



司会を務めた文化委員長の小松奈央さん(左二年生)企画運営をがんばりました。



合格おめでとう



卒業後は、辰野高校で養ったコミュニケーション能力を活かして、辰野高校で見つけた夢に向かって努力したいと思います。

山内一輝君

大学受験は面接試験でしたが、緊張せずに自分の考えを述べ、合格することができました。それは辰野高校での活動のおかげです。なぜなら辰野高校には三者協議会や辰野フォーラムといった行事があります。それらに積極的に参加することで他者と意見を述べ合うことに慣れることができます。そこで、面接試験にも落ち着いて臨むことができたのだ

全体会では「チョコッとりん、ラッキー」を売っています」をテーマにして、商品開発に携わった商業科三年生の二人が発表しました。



この商品は米玉堂さんから、「地域に根付いた商品作りを進めたい」という依頼が来てから開発まで一年以上の歳月をかけました。

開発過程を振り返り、原拓也さん(三年)からは「自分たちが知恵を絞った企画が『だめだ』と言われることも多かったが。うまくいかなかつたこともよい経験になった。」

石倉果歩さん(同)からは「一つの商品を作るので、こんなに時間がかかるとは思わなかった。協力する大切さを学んだ。」という発表がありました。また、米玉堂食品営業部の唐澤淳さんからは「私どもの考えにはなかった斬新なアイデアを出してもらつた。最初はリングとチョコチップが合うのかという思いもあつたが、大勢の人によく好評をいただけています。今後とも一緒にやっていきたい。」と言つていただきました。

二年の三学期にシステムエンジニアという夢が見つかり、信大という目標も決まりました。そこから勉強に力を入れたのですが、短い期間でかなり学力を伸ばさなければならなかつたので、放課後先生に教えていただきたり、問題を解いたりと、短期集中で勉強に取り組みました。

二年の三学期にシステムエンジニアという夢が見つかり、信大という目標も決まりました。そこから勉強に力を入れたのですが、短い期間でかなり学力を伸ばさなければならなかつたので、放課後先生に教えていただきたり、問題を解いたりと、短期集中で勉強に取り組みました。

地域との連携を考える —辰高フォーラム2012開かれる—

信州大学工学部 推薦入試合格

「地域への発信」辰高から地域へ、地域から辰高へ、「テーマに辰高フォーラムが十月十九日(金)に開かれました。辰高生、PTAや地域の方々合わせて六百人ほどが参加しました。

